

■媒体クリッピング (WEB)

■NPO法人セカンドライフ.jp (12/24掲載)

● 在マレーシア日本国大使館
Embassy of Japan in Malaysia

Google 検索 英語 文字サイズ変更 印刷

ホーム 大使館案内 二国間関係 領事情報 広報文化 重要外交情報 リンク

上ノブエニシ > 海外関係の「日本海外貿易及び労働者」の受賞及び賞状授与の「日本食普及の推進大使」就任

京川厚志氏の「日本食海外普及功労者表彰」の受賞及び賞状授与の「日本食普及の推進大使」就任

令和6年12月23日 English

令和6年12月20日、農林水産物等輸出促進全国協議会総会にて、京川厚志氏が「日本食海外普及功労者表彰」を受賞しました。また、同協議会総会では、賞状授与式でマレーシアでの「日本食普及の推進大使」に任命しました。

「日本食海外普及功労者表彰」は、日本の農林水産物・食品の輸出の一層の拡大に向けて、海外での日本食・食文化又は日本の農林水産物・食品の紹介、普及等に多大に貢献してきた者に対し、農林水産大臣賞を授与するものです。

「日本食普及の推進大使」は、海外の日本料理関係者等に専門的な視点からアドバイスを行うなど、海外で日本食・食文化を継承・普及して頂くため、農林水産大臣が任命しているものです。

京川厚志氏は、日本の生鮮・冷蔵・冷凍食品をマレーシアに輸入販売する専門会社JMG Trading社を開設後、マレーシアにおける長年の日本食ビジネス経験のもと、これまで日本産農産物の販路の拡大に向けた地道なスーパーへの販路を積極的に関与しました。また、2013年より10年間に渡り、JITROクアラルンプール事務所の農林水産・食品コーディネーターを務め、マレーシア両国の輸出を継続している事業者に実践的に基づくアドバイスを提供するなど、マレーシアでの日本食・食文化の普及に貢献しました。

賞状授与は、マレーシアでSushi Hibiki, Sakana Japanese Diningの2店舗の日本食レストランでオーナーシェフを務めています。日本食普及イベントであるSushi Summitの開催や東北地方の水産事業者と連携したプロモーション活動の実施、ムスリムフレンドリーな日本食メニューの開発など、マレーシアでの日本の食文化の普及に向けて様々な活動に活動しており、今後、日本国内からの進出により、日本食普及の推進大使に任命されました。

本年5月、在マレーシア日本国大使館にてJITROクアラルンプールは、輸出事業者や地域の食品事業者などを視察の拠点とする専門的かつ建設的に支援するため、マレーシアで「農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム」を設立しました。当館では、同プラットフォームの活動の進行、引き続き、マレーシアでの日本食普及に取り組んでまいります。

(日本食海外普及功労者表彰)
https://www.mof.go.jp/ishokusan/export/ie_award/index.html

(日本食普及の推進大使)
https://www.mof.go.jp/ishokusan/npayaku/shukokukankai_taihu/

(JMG Trading社)
<https://jmgtrading.com.my/>

(Sushi Hibiki)
<https://www.hibikiids.me/>

(Sakana Japanese Dining)
<https://sakana.my/>

■日本農業新聞 (12/21掲載)

2024年12月21日
輸出拡大に貢献、4事業者に大臣賞 輸出促進全国協議会

「ニュース」 | 農産物輸出

農水省は20日、農林水産物の輸出で優秀な取り組みを行う事業者を表彰した。最高位の農林水産大臣賞には、米輸出を手がける戸別RICE（北海道芦別市）など4事業者を、輸出・国際局長賞には6事業者を選んだ。...

記事の続きを読むには、こちらから会員登録（有料）が必要です>>

会員登録（有料）はこちら

ログイン

■BtoBプラットフォーム (12/21掲載)

農林水産物等輸出促進全国協議会 石破総理ビデオメッセージ

2024/12/20 首相官邸

農林水産物等輸出促進全国協議会 石破総理ビデオメッセージ

更新日: 令和6年12月20日 総理の指示・談話など

皆様、こんにちは。本日、「農林水産物等輸出促進全国協議会」が、多くの関係者の皆様方が参加されて開催されましたことを心からお慶（よろこ）びを申し上げます。

本日の総会に出席したいなと思っておりましたが、国会が開催されており、予算編成も山場となっており、どうしても出席ができません。このような形で御挨拶をいたしますが、どうぞ御容赦を願いたいと存じます。

「日本食海外普及功労者」、また、「輸出に取り組む優良事業者」として表彰を受けられます皆様方、本日は誠にありがとうございます。食習慣の異なる海外におきまして、日本食の普及・市場開拓に取り組んでこられた皆様方の御努力に深く敬意を表する次第でございます。

我が国の農林水産物・食品の輸出額は、昨年、過去最高を更新し、1兆4,500億円を超えました。これは、本日より表彰を受けられる皆様方をはじめとする方々が、海外において我が国が誇る食文化の普及に御尽力をされ、そして、安全でおいしい農林水産物・食品の生産や輸出に熱心に取り組んでこられた皆様方、そういう方々の御努力の賜物であります。

多くの関係者の皆様方の御尽力、これによりまして、海外におけます日本食レストランの数は、昨年は18万店を超え、なんと、10年前の3倍以上となったと承認をいたしております。

日本を訪れる外国人旅行者の数は、この9月までで2,688万人に達しました。既に昨年1年分の2,507万人を突破して、旅行消費も過去最高となっております。

海外の日本食レストランに、本場の日本産食材が円滑に供給され、日本食のファンが増え、おいしいね、健康だね、そういうようなファンが増えて、ますます日本からの輸出や日本へのインバウンドが増え、好循環を確立するということ、これが重要であります。こうした中で、インバウンド需要を取り込む「海外から稼ぐ力」を強化することが最も重要なことであると考えております。

私は、作り手の皆様方が、食される方々のことを第一に考え、丁寧に育てて収穫し、あるいは漁獲をし、そうしておられます農林水産物、生産しておられる食品のにおい、安全性を考えれば、海外の皆様方にまだまだ受け入れられる余地があること、このように思っております。米を中心としたこの文化は、グローバルフリーにも大きく資するものがございます。持つておられる潜在力を、もっともっと高め、顕在化していくということが重要だと思っております。

我々日本人には「おにぎり」、本道になじみの深いものですが、ローマ字表記で「ONIGIRI」とこう書いて、ヨーロッパでもアメリカでも大人気、パリでもニューヨークでも長蛇の列があります。我々は、この輸出をもっともっと拡大したいと思っております。それは自給率の向上にも、当然つながるものがございます。そしてまたそれは、今まで生産調整ということで、作らないでください、生産調整してくださいねというふうに申し上げてまいりました。この政策については、またこれからいろいろな御議論があることかと思っております。輸出が拡大するということは、いずれにいたしましても、農業に関係する方々を大変に元気づけるものだというふうに考えております。

先日、習近平主席との間で日中首脳会談を行いました。中国によりまして、日本産水産物の輸入回復の早期実現に加え、我が国からの牛肉の輸出再開、精米の輸出拡大に係る協議の再開も求めています。

今後も政府として、江原農林水産大臣を総務として関係閣僚一丸となって、世界が求める日本産農林水産物・食品の輸出拡大に努めてまいります。私自身、できる限りの努力をしております。元農林水産大臣として、そのように考えております。官民挙げて、日本全体として、オールジャパンとしての取組が更に展開できますよう、引き続き、関係者の皆様方の御協力、一層よろしくお願い申し上げます。

お議論（しやうぎ）が輸出されるときに、茂木会長がどんなに努力をされたか、そのお話を以前、承って感動したことがございます。

茂木会長を始め、本日御列席の皆様方がますますの御活躍、御健勝を心からお祈りして、私の御挨拶といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

■媒体クリッピング（WEB）

■サードニュース（12/20掲載）

#日本食 #農林水産物 #石破総理

石破総理が語る農林水産物の輸出促進と日本食の未来

x t f B! @ Mi

石破総理が語る農林水産物等輸出促進の意義

令和6年12月20日、農林水産物等輸出促進全国協議会の総会が開催され、その場で石破総理がビデオメッセージを通じて挨拶を行いました。総理は、海外における日本食の普及が進んでいることを報告し、出席予定であったものの国会運営の都合から出席できなかったことを残念に思っていると述べました。特に、特別表彰を受けた「日本食海外普及功労者」や「輸出に取り組み優良事業者」への祝辞は、総理の感謝の気持ちを伝えるものでした。

日本食の魅力と普及の進展

石破総理は、過去最高の1兆4500億円を超えた農林水産物・食品の輸出額を誇り、日本の食文化を海外に広めるために尽力された方々に深い敬意を表しました。海外では、日本食レストランが18万店舗を超え、10年前の3倍に増加していることは、輸出の成果を証明しています。また、今年9月までの外国人旅行者は2,688万人に達し、旅行消費額も過去最高となっています。このようなデータは、日本食の需要が今後も急増することを示唆しています。

輸出拡大に向けた取り組み

日本の農林水産物や食品の魅力を引き出し、海外で更なるファンを増やすことが重要だと総理は強調しました。特に、米の国際的な需要を拡大し、「ONIGIRI」が世界的に人気を得ている現状を踏まえ、国内自給率の向上にもつなげたいという意欲が示されました。総理は、政策の見直しや農業支援において、今後も様々な議論が必要になる見通しを語りました。

日本産農林水産物の魅力

また、石破総理は中国との経済関係に触れ、日本産水産物の輸入再開や牛肉の輸出再開を求める意向を示し、政府としてこの課題に全力を尽くす考えを示しました。特に、関係大臣と連携をとり、世界が求める品種の高い日本の食材を提供していくことが重要だと述べました。このような取り組みを通じて、農業を支える人々が元気づけられ、全国的な関与を促すという形で「オールジャパン」の姿勢が求められています。

これからの日本食の発展

石破総理のメッセージは、日本食が持つポテンシャルを最大限に引き出し、国内外の人々にその魅力を伝えるための重要な指針となることでしょう。私たち一人ひとりも、国内農業の支援や地元食材の利用を通じて、この取り組みに関与していくことが求められています。今後も、農林水産物が日本の食文化を翼として、さらなる発展を遂げることを期待しています。

x t f B! @ Mi

農林水産物等輸出促進全国協議会総会 石 破総理ビデオメッセージ

更新日：令和6年12月20日 | 総理の指示・談話など

Xポスト シェアする LINEで送る

関連動画



皆様、こんにちは。本日、「農林水産物等輸出促進全国協議会 総会」が、多くの関係者の皆様方が参加されて開催されますことを心からお慶（よろこ）びを申し上げます。

本日の総会に出席したいと思っておりますが、国会が開催されており、予算編成も山場となっており、どうしても出席ができません。このような形で御挨拶をいたしますが、どうぞ御容赦を願いたいと存じます。

「日本食海外普及功労者」、また、「輸出に取り組む優良事業者」として表彰を受けられます皆様方、本日は誠にありがとうございます。食習慣の異なる海外におきまして、日本食の普及・市場開拓に取り組んでこられた皆様方の御努力に深く敬意を表する次第でございます。

我が国の農林水産物・食品の輸出額は、昨年、過去最高を更新し、1兆4、500億円を超えました。

これは、本日表彰を受けられます皆様方を始めとする方々が、海外において我が国が誇る食文化の普及に御尽力をされ、そして、安全でおいしい農林水産物・食品の生産や輸出に熱心に取り組んでこられた皆様方、そういう方々の御努力の賜物であります。

多くの関係者の皆様方の御尽力、これによりまして、海外におけます日本食レストランの数は、昨年は18万店を超え、なんと、10年前の3倍以上となったと承知をいたしております。

日本を訪れる外国人旅行者の数は、この9月までで2、688万人に達しました。既に昨年1年分の2、507万人を突破して、旅行消費額も過去最高となっております。

海外の日本食レストランに、本場の日本産食材が円滑に供給され、日本食のファンが増え、おいしいね、健康的だね、そういうようなファンが増えて、ますます日本からの輸出や日本へのインバウンドが増えていくよう、好循環を確立するということが、これが重要であります。こうした中で、インバウンド需要を取り込む「海外から稼ぐ力」を強化することが最も重要なことであると考えております。

私は、作り手の皆様方が、食される方々のことを第一に考え、丁寧に育てて収穫し、あるいは漁獲をし、そうしておられます農林水産物、生産しておられる食品のおいしさは、安全性を考えれば、海外の皆様方にまだまだ受け入れられる余地があると、このように思っております。米を中心としますこの文化は、グルテンフリーにも大きく資するものでございます。持っておられる潜在力を、もっともっと高め、顕在化していくことが重要だと思っております。

我々日本人には「おにぎり」は、本当になじみの深いものですが、ローマ字表記で「ONIGIRI」とこう書いて、ヨーロッパでもアメリカでも大人気、パリでもニューヨークでも長蛇の列であります。我々は、コメの輸出をもっともっと拡大したいと思っております。それは自給率の向上にも、当然つながるものでございます。そしてまたそれは、今まで生産調整ということで、作らないでくださいね、生産調整してくださいとねというふうに申し上げてまいりました。この政策については、またこれからいろいろ御議論があることかと思っておりますが、輸出が拡大するということは、いずれにいたしましても、農業に関係する方々を大変に元気つけるものだというふうに考えております。

先日、習近平主席との間で日中首脳会談を行いました。中国によりまして、日本産水産物の輸入回復の早期実現に加え、我が国からの牛肉の輸出再開、精米の輸出拡大に係る協議の再開も求めてまいりました。

今後も政府といたしまして、江藤農林水産大臣を始めとして関係閣僚一丸となって、世界が求める日本産農林水産物・食品の輸出拡大に努めてまいります。私自身、できる限りの努力をしてまいりたい、元農林水産大臣として、そのように考えております。官民挙げて、日本全体として、オールジャパンとしての取組が更に展開できますよう、引き続き、関係者の皆様方の御協力、一層よろしくお願いを申し上げます。

お醤油（しょうゆ）が輸出されるときに、茂木会長がどんなに努力をされたか、そのお話を以前、承って感動したことがございます。茂木会長を始め、本日御列席の皆様方のますますの御活躍、御健勝を心からお祈りして、私の御挨拶といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

Xポスト シェアする LINEで送る

新着情報

官邸からのメッセージ

総理の一日

総理の演説・記者会見など

内閣官房長官記者会見

総理の指示・談話など

内閣官房長官談話など

タグ一覧

すべて見る

MAFF

**Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries**

農林水産省